

第7回 JAPAN YARN FAIR

NEWS No.4 平成22年2月5日

3日間の来場者は 2,757名

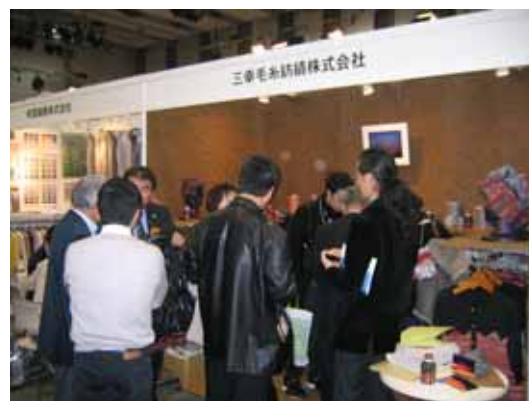
2月3日からFDCCで開催されていた「第7回ジャパン・ヤーン・フェア(JY)」は5日、3日間の会期を終えた。3日目の来場者は1,041名、会期中の合計来場者は2,757名で前回の3,014名を下回った。しかし、サンプルリクエスト数は初日、2日目合わせて2,835点で、前回2日間の1,598点を77%も上回る結果となった。これはJY展がビジネス本位の展示会になったことの証で、テキスタイルメーカーやニットメーカー、商社・問屋、アパレル小売店などの商品企画にとって「不可欠の展示会」(日本毛織物等工業組合連合会・長尾大八郎理事長)と位置付けられた。

今回のJY展は、ヤーンやテキスタイルを取り巻く市場が極めて厳しい状況の中で開催された。特に毛糸や綿糸の生産が、リーマンショック以降の消費不況から、戦後の水準まで戻るといふ「非常事態」の中で開催されたが、それだけに出展者も来場者も「新商材の提案・確保」に真剣だった。

具体的には、出展者の多くが、糸や原料に機能性を付加した商品を展示し、究極の差別化商品を提案した(一部はその機能を実証する機器も展示=別項)、来場者も差別化商材探しに真剣で、来場者数は減少したものの、リクエスト数は前回は大幅に上回った、来場者の中では新規のアパレル・小売の来場が目立った。

3日目もオンワード樫山、ジュニア、オーブ・デ・オーブ、アバハウスインターナショナル、ヒロタ、キンググローリー紳士服などのほか、ヒロココシノインターナショナル、ヨーガンレールなどデザイナーブランドや、寝具の京都西川なども訪れた

2日目の出展者に対する来場者の要望・声としては、「セーター用の糸を捜している。軽くて特徴のある糸はないか」「ストックサービス



{ 昼休みも続く商談 }

という点がとてもありがたい」「ラメの光沢と肌ざわりが良い新商品が高い評価」というビジネス本位のものから、「意義深い展示会。年2回開催して」という要望まであった。

3日目に東京都八王子市から来場した「みやしん(株)」の宮本英治社長は「東京でも開催してもらいたいほど意義ある展示会。ヤーンからの差別化という動きを反映したのでしょうか。すごく盛大ですね。参考になりました。」

3日目の来場者数は1,041名(前回3日目1,119名)で内訳は、テキスタイル36%、商社・問屋26%、アパレル・小売10%、そ

の他 28%。地域割合では、愛知県 37%、岐阜県 10%、東京都 12%、大阪府 16%、京都府 4%、その他 21%であった。その他の地

域で山形、茨城、群馬、山梨、石川、福井、静岡、三重、滋賀、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、愛媛、福岡など多数県から来場された。

3日目の来場者アンケート結果は以下のとおり

1、来場目的

商談 12% 提案素材の確認 31% 企画の参考 43% 新規取引先開拓 7% その他 7%

2、商談の内容

継続 29% サンプル請求 71%

3、JYブースについて

見やすい 77% 見にくい 7% どちらでもない 16%

4、次回も来場するか

はい 87% しない 0% 分からない 13%

5、開催時期

今のままで良い 76% 他の時期が良い 24%

《第7回JY来場者内訳とビジネス内容》

1、業種別

業種	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)	計(構成比%)
テキスタイル	331(284)	370(405)	379(411)	1,080(39%)
商社・問屋	202(291)	228(260)	267(218)	697(25%)
アパレル・小売	37(56)	64(55)	104(74)	205(7%)
その他	213(229)	271(315)	291(416)	775(29%)
計	783(860)	933(1,035)	1,041(1,119)	2,757(100%)

2、地域別

地域	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)	計(構成比%)
愛知県	368(358)	344(400)	382(494)	1,094(40%)
岐阜県	89(88)	86(135)	102(122)	277(10%)
東京都	45(69)	68(95)	124(71)	237(9%)
大阪府	115(151)	154(170)	169(158)	438(16%)
京都府	23(36)	36(46)	38(43)	97(4%)
その他	143(158)	245(189)	226(231)	614(21%)
計	783(860)	933(1,035)	1,041(1,119)	2,757(100%)

3、実績

	1日目(前回)	2日目(前回)	3日目(前回)
ブース来場者・延べ数	3,915 (5,850)	4,455 (6,509)	5,196 (4,755)
サンプルリクエスト	1,170 (844)	1,665 (750)	1,279 (777)
現物受注	4 (93)	16 (15)	16 (7)
1社当りリクエスト	26 (19)	37 (17)	28 (19)

第7回JYトピック(展示された実証機器)

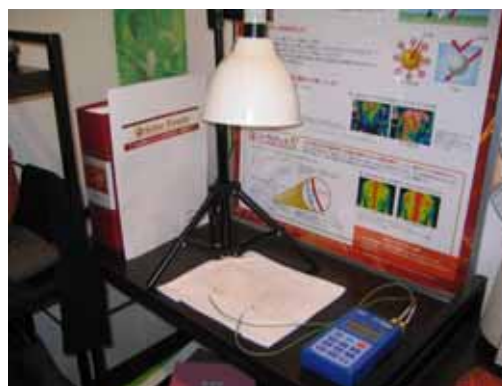
今回のJYでは「ビックリ素材」が多数出品されたが、それと共に注目されたのが、ミニプラントであった。これは実際に意匠燃糸を製作するものや、各種機能の数値を測定するもの、多機能繊維のノズルの仕組み、ヤーン印字を見る顕微鏡などで、「口先の説明だけでなく、科学的に機能を実証する」ため持ち込まれたもの。

以下、4点を紹介する。

{ 意匠燃糸を作るミニプラント }



{ 赤外線発熱温度を測定する機器 }



{ 多機能繊維の紡糸デモ機 }



{ 糸に印字した状況を見る顕微鏡 }



この件に対するお問い合わせは、FDC事務局まで (0586 - 46 - 1361)

出展各社の特徴はこちらまで <http://www.fdc138.com/fashion/promotion/jy/index.html>